第3次碧南市生涯学習推進計画

~だれもが楽しく学び ともに輝くまち へきなん~





令和4年3月 碧南市

第Ⅰ	早 計画	別の東定	1- d	りた	つ	(
1	生涯学習	習とは・			•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
2	計画策划	どの背景と	と目	的·	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
3	計画策定	との位置~	づけ		•	•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•		2
4	計画策划	定の期間			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		3
5	計画の領	策定体制			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		3
笙?	章 碧南	古古の生	涯点	医迟受	ற	泪	仆	・レ	・並	里県	誀											
1		り生涯学習																				4
2		リエ佐子 目 目に関する									σ	绘士	甲.		•	•	•	•	•	•		8
3		ョに関する り生涯学習																				
		の主催子で の生涯学習		-	-								•	•	•		•				2	
4	岩削巾0	7生催子 に	当の	土安	床	瓼	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	_
第3	章 基本	構想																				
1	基本理点	念・・・			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	4
2	基本目標	票•••			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	5
3	計画の打	旨標・・			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	6
4	計画の体	本系図・			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	7
5	計画と	SDGs0	の関	係・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	8
第 4 ·	章 基本	油信2																				
•	ヰ		され	キュ	. ታን	14.	づ	,	11											•	2	a
		学びをラ																			3	
至/	の影日4	子びとり	スん	ତ 14	巾巾	J	`	り	•	•	·	•	•	•	•	•	•	•	•	•	S	O
第5	章 計画	面の推進	にば	旬け	7																	
1	計画の抽	推進体制			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	9
2	生涯学習	習と持続す	可能	な市	i民	協	働	の	ま	ち	づ	<	り	•	•	•	•	•	•	•	3	9
3	計画の過	進捗把握る	と評	価・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	0
資料;	編																					
資料		王学習に	周十	ス士	: F	マ	\ /.	十.	_	٦.	詽	本 [、]	纽士	田						_	1	1
- 1.		宝子音に E学習推済	• •											•								
貝木	斗3 第3) 八岩肖「	山土	佐子	首	推	進i	āΤl	븨	נט	來	Lί	淫.	则	•	•	•	•	•	•	O	1

第1章

第1章 計画の策定にあたって

1 生涯学習とは

生涯学習とは、わたしたちが生涯にわたって行う学習活動です。わたしたちは、生まれるとすぐに、家庭を中心として学習を始めます。やがて、学校に通い学習をすすめるとともに、地域社会でもいろいろな学習機会に出会い、学習することがらを広げていきます。さらに、学校を卒業して社会に出ると、仕事にかかわる学習や、豊かで充実した人生を送るための学習を続けることになります。

このように、日々行っている個人や団体での学習活動をはじめ、日常生活から得る学びや気づきまでも生涯学習に含まれます。そのため、実施形態や内容もさまざまであり、家庭、学校、職場、地域社会での学習活動だけでなく、文化活動、スポーツ活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動など、幅広い活動の中で行われるものです。

このことから、生涯学習は、わたしたち一人ひとりの生きていくことそのものに深くか かわっているといえます。

2 計画策定の背景と目的

生涯学習という言葉は、今日の社会で広く普及し、様々な生涯学習活動が展開されています。平成18年12月に改正された教育基本法第3条では、生涯学習の理念として「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる社会の実現が図られなければならない。」と規定され、生涯学習社会の実現を目指すことが明確化されています。

本市では、平成13年に「碧南市生涯学習推進計画(平成14年度~平成23年度)」 を策定し、『人が生き生き まちが元気 学びあうまち 碧南市』を基本理念に生涯学習 の推進を図ってきました。

その後、平成24年には、『まなびあい 楽しさつくる へきなんし』を基本理念とする「第2次碧南市生涯学習推進計画(平成24年度~令和3年度)」 を策定し、人と人

とが互いに楽しく学び合い、その成果を地域社会に活かすことができるまちづくりをめざ し、さまざまな事業に取り組んできました。

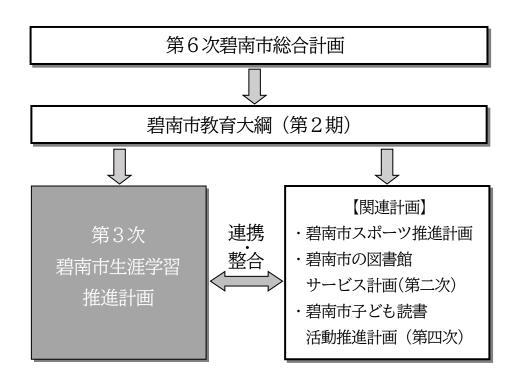
しかしながら、計画策定以降、人口減少と高齢化、グローバル化、子どもの貧困問題、 地域のつながりや人間関係の希薄化など、私たちを取り巻く社会情勢は急激に変化してい ます。

さらには、ICTの普及・進展が進む中、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界的に流行したことを契機に、人々のライフスタイルやコミュニケーションの方法が大きく変化し、子どもから高齢者まで幅広い年代にその影響が及んでいます。そのため、今後の生涯学習環境づくりにおいても、こうした変化を踏まえた新たな視点で課題に対応していくことが求められます。

「第3次碧南市生涯学習推進計画」(以下「本計画」)は、これらの状況を踏まえ、現行計画の取り組みを継承しつつ、社会情勢の変化や新たな課題に対応した生涯学習施策を推進するために策定するものです。

3 計画策定の位置づけ

本計画は、「第6次碧南市総合計画」及び「碧南市教育大綱(第2期)」を上位計画とし、本市の関連計画と連携・整合を図りながら推進していきます。



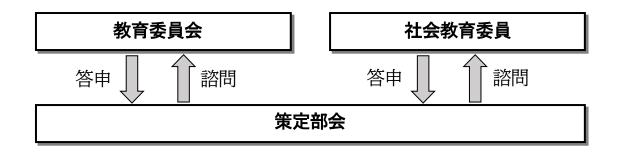
4 計画策定の期間

本計画は、令和4年度から令和13年度までの10年間とします。なお、社会情勢の変化や施策の動向を踏まえ、必要に応じて計画内容の見直しを行います。



5 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、庁内の課長職で組織する策定部会で計画素案の検討を行い、 教育委員会及び社会教育委員会議において意見を聴取し、承認を経て策定しています。



第2章

第2章 碧南市の生涯学習の現状と課題

1 碧南市の生涯学習施設の状況

生涯学習の拠点として、本市では1小学校区1公民館の方針により市内に7つの公民館 を、また文化会館、市民プラザなどを整備してきました。

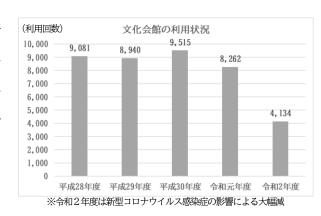
公民館は、地区住民の生涯学習活動の拠点となっているだけでなく、地域住民の交流活動の拠点としての役割も担っています。

市民プラザは、会議室・研修室の他に体育施設や児童センター等を併設した多目的施設となっており、幼児から高齢者にいたるまで幅広く利用されています。

<生涯学習活動拠点施設>

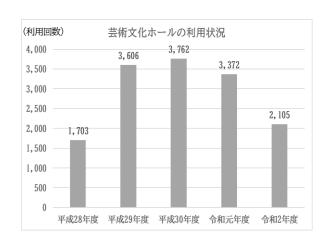
施設名	所在地	延床面積(m²)	開館年月日	経過年数
文化会館	源氏神明町4	4, 222	昭和54年4月5日	43
芸術文化ホール	鶴見町 1-70-1	4,725	平成5年7月17日	28
新川公民館	新川町 2-1-1	576	昭和56年4月1日	4 1
中部公民館	向陽町 3−48	533	昭和61年4月1日	3 6
大浜公民館	中町 1-53	543	昭和57年4月1日	4 0
棚尾公民館	汐田町 2-28	1,990	平成11年2月1日	23
日進公民館	日進町 2-92	523	昭和59年4月1日	38
鷲塚公民館	旭町 2-66	520	昭和58年4月1日	3 9
西端公民館	半崎町 3-60	290	昭和52年1月8日	4 4
農業者コミュニティセンター	神田町 2-6	1, 198	昭和61年1月8日	3 6
市民図書館	鶴見町 1-70-1	4, 327	平成5年7月17日	28
市民図書館中部分館	源氏神明町2	1, 203	昭和 44 年 11 月 18 日	52
南部市民プラザ	塩浜町 7-135	3,049	平成3年7月2日	3 0

文化・芸術施設として、文化会館、芸術 文化ホールには多人数を収容できるホール を有し、市民の学習成果の発表の場、芸術 鑑賞の場となっているとともに、楽器など の練習に適した防音加工の部屋も備えてい ます。



芸術文化ホールは、平成26年度より民間事業者の有するノウハウを活用し住民への良質なサービス提供及び管理運営の効率化を図るため、指定管理者制度を導入しました。

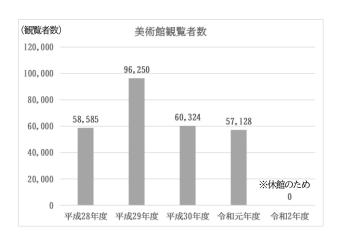
図書館施設は、本市には市民図書館(本館)を始め、南部分館(南部市民プラザ内)、中部分館の3つの図書館があり、公民館にはそれぞれ図書室を設置するなど、充実した図書資料により市民の知的活動を支援しています。また、令和3年度からは電子図書の貸出が開始されました。





碧南市の地域性を活かした施設としては、哲学たいけん村無我苑、海浜水族館、あおいパーク、藤井達吉現代美術館があります。

藤井達吉現代美術館は、これまで多くの美術作品等の寄贈や寄託があり、現在、収蔵庫の増設及び長寿命化対策などの改修を行っており、令和5年春頃のリニューアルオープン に向けて準備を進めています。





藤井達吉現代美術館

海浜水族館は、希少淡水魚保護及び観察体験、三河の自然の魅力発信をする場などとして、ビオトープやニホンイシガメ繁殖施設などを新設しました。また、併せて大水槽等を 刷新し、平成31年3月にリニューアルオープンをしました。





ビオトープ

また、文化財施設としては、文化財の調査・保護及び市史史料・民俗資料の整理・活用を推進するとともに、市民に対する保護意識の高揚に努めています。

各施設では、学術資源の収集・調査・展示のみならず、工作教室などの参加型事業を展開するとともに、小中学校などとの連携による教育普及活動にも力を入れています。

スポーツ施設としては、臨海体育館、各種グラウンド、テニスコートなどを整備し、市 民の健康増進活動・スポーツ活動の拠点となっています。また、気軽にスポーツを楽しむ ことができる環境づくりを目的として、文部科学省が推進している地域密着型のスポーツ クラブである総合型地域スポーツクラブの活動も支援しています。

平成30年7月には、新たなスポーツの掘り 起こしによるスポーツ機会の創出及び市民のスポーツ実施率の向上を図るため碧南緑地ビーチ コートが開設されました。

また、公園施設の一部として碧南スケートボードパークが令和2年3月に供用開始され、新たなスポーツに触れる機会が増えています。



碧南緑地ビーチコート





碧南スケートボードパーク

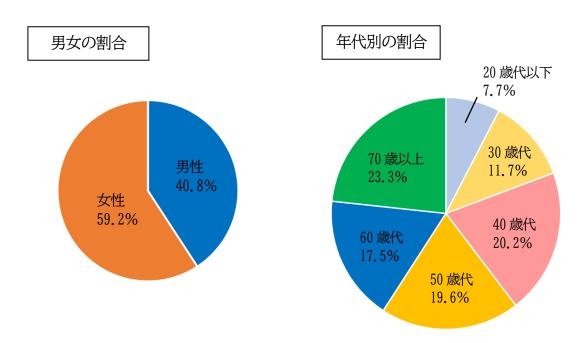
全体的に、市の生涯学習施設は供用開始から40年程経過する施設も多くなっており、 施設や備品の老朽化が進んできています。今後は改修や修繕を含め施設のあり方について も検討をしていく必要性があります。

2 生涯学習に関する市民アンケート調査の結果

本計画を策定するにあたり、令和3年7月に市内在住の18歳以上の市民1,000人 を対象として「生涯学習に関する市民アンケート」を実施しました。

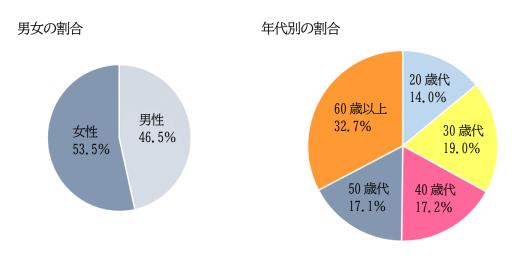
内容は、第2次生涯学習推進計画策定時に実施した市民アンケートを基本として実施しました。なお、有効回答数は326人、有効回答率は32.6%でした。

(1) 回答者の年代別・性別構成比



<前回アンケート>

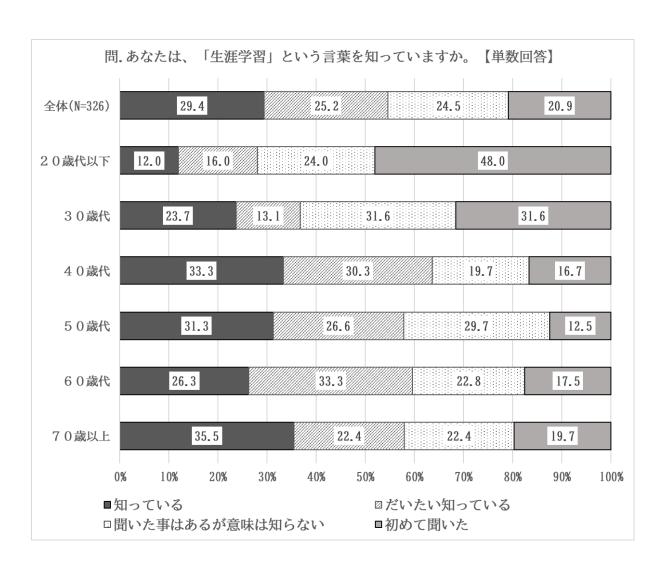
平成23年8月に市内在住の20歳以上の市民1,500人を対象に実施し、約58%にあたる866名が回答。



(2) 生涯学習という言葉の認知度

生涯学習という言葉を聞いたことがある人は全体の79%で、前回調査(平成23年: 80%)と比較してほぼ同じ割合となっています。また、30歳代以上の世代では、いずれの年齢層においても高い割合で認知されています。

しかし、20歳代以下の世代では「このアンケートで初めて聞いた」という人の割合が 48%であり、前回調査の24%から2倍に増えています。

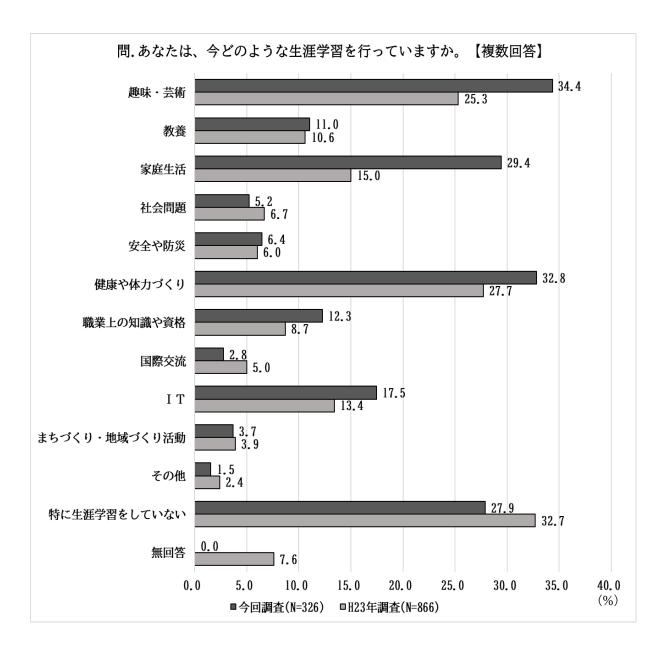


(3) 日頃の生涯学習

① 生涯学習の内容

生涯学習の内容としては「趣味・芸術(音楽、絵画、手芸、茶道、華道、書道、園芸など)」の34.4%が最も多く、次いで「健康や体力づくり(食育、スポーツ、レクリエーションなど)」が32.8%、「家庭生活(料理、裁縫、育児、消費生活など)」が29.4%となっています。

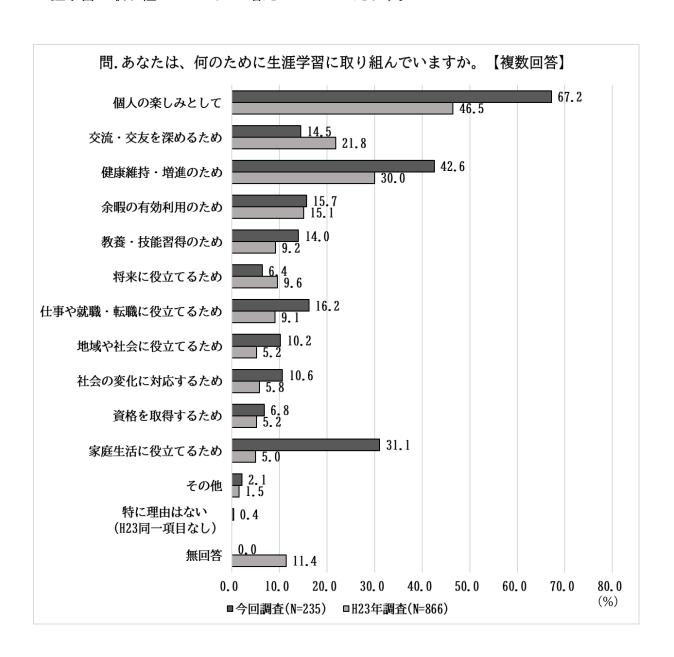
前回調査結果と比較すると、「趣味・芸術」は9.1ポイント、「家庭生活」は14.4ポイント上昇しており、人気が高くなっています。また、「特に生涯学習をしていない」の割合が、32.7%から4.8ポイント減少しており、何らかの生涯学習を行っている人の割合が多くなっています。



② 生涯学習の目的

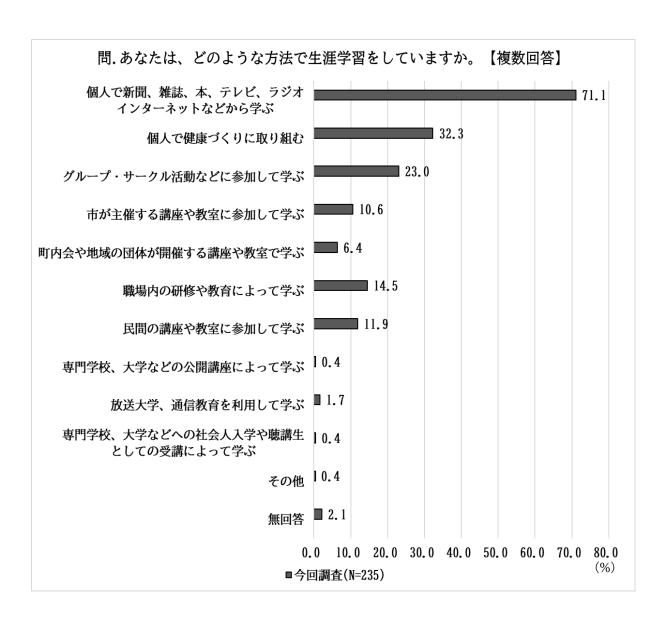
生涯学習を行う目的をみると、「個人の楽しみとして」の67.2%が最も多く、次いで「健康維持・増進のため」が42.6%、「家庭生活に役立てるため」が31.1%、「仕事や就職・転職に役立てるため」が16.2%となっています。

前回調査結果では、「個人のたのしみとして」と「健康維持・増進のため」が突出していましたが、今回調査結果では「家庭生活に役立てるため」と「仕事や就職・転職に役立てるため」のポイントが大きく上昇しており、日常生活や仕事のスキルアップを目指して生涯学習に取り組んでいる人が増えているといえます。



③ 生涯学習の方法

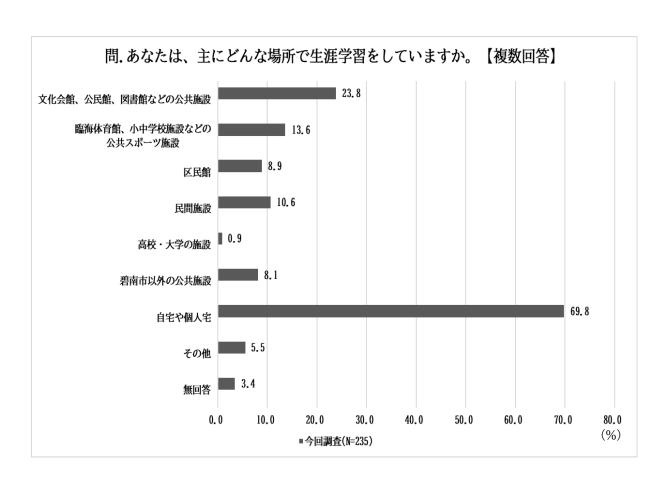
生涯学習の方法をみると、「個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ」が71.1%と特に高い割合を示しており、「個人で健康づくりに取り組む」が32.3%と、個人で学ぶ方が多い傾向にあります。次いで「グループ・サークル活動などに参加して学ぶ」、「職場内の研修や教育によって学ぶ」が多くなっています。



④ 生涯学習の場所

活動場所については、「自宅や個人宅」が69.8%と飛び抜けて多く、次いで「文化会館、公民館、図書館などの公共施設」や「臨海体育館、小中学校施設などの公共スポーツ施設」など、市内の公共施設が学習拠点として利用されています。

現在は自宅で学習するケースも増えているため、今後は、在宅でもできる学びの環境を 整えていくことも重要だといえます。

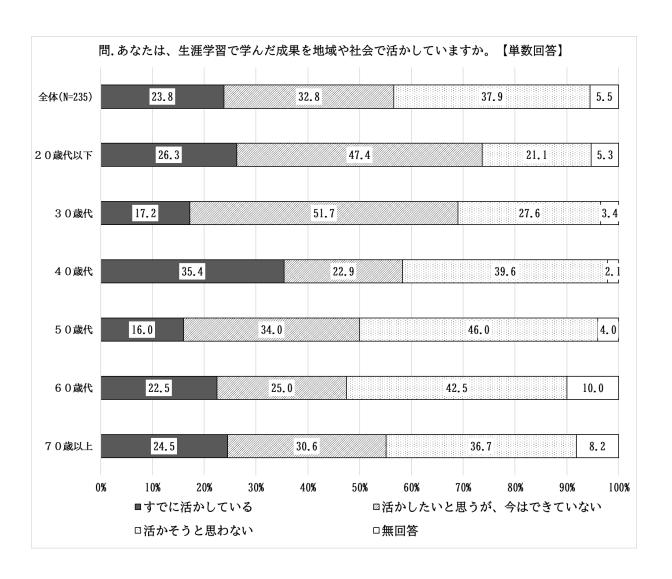


(4) 生涯学習の活用状況

① 地域や社会での活用

地域や社会での活用については、全体で23.8%の方が「すでに活かしている」と回答した一方で、「活かしたいと思うが、今はできない」の方が32.8%とあり、思いがあるのに活用されていない方が多い状況です。

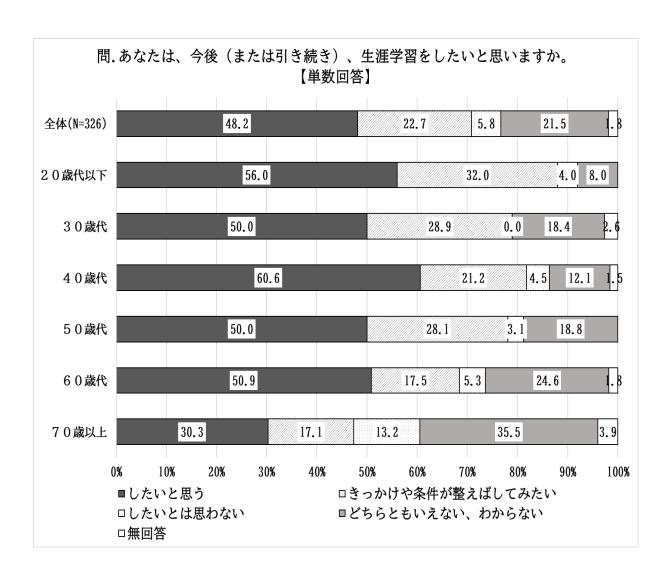
また、年代別では、「すでに活かしている」が40歳代で35.4%と高く、「活かしたいと思うが、今はできない」は30歳代で51.7%、20歳代以下で47.4%と高く、若い方が活かしきれていないという傾向が見られました。



(5) 今後の生涯学習

① 今後の学習意向

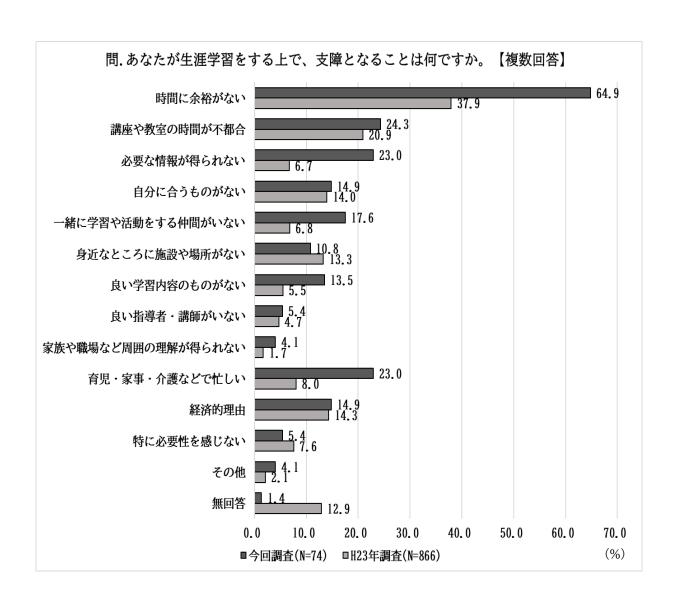
今後の学習意向については、全体で生涯学習を「したいと思う」が48.2%、「きっかけや条件が整えばしてみたい」が22.7%で、7割以上が生涯学習に今後取り組んでいきたいという意向を示しています。また、年代別では、子育て世代や働き盛り世代に学習意欲が高い傾向が見られます。



② 生涯学習をする上で支障となること

前質問で子育て世代や働き盛り世代に学習意欲が高い傾向が見られた一方で、生涯学習をする上で支障になることついては、「時間に余裕がない」、「育児・家事・介護などで忙しい」が多い回答がありました。

また、前回調査と比べて、「必要な情報が得られない」、「一緒に学習や活動をする仲間がいない」という回答が多くなっています。

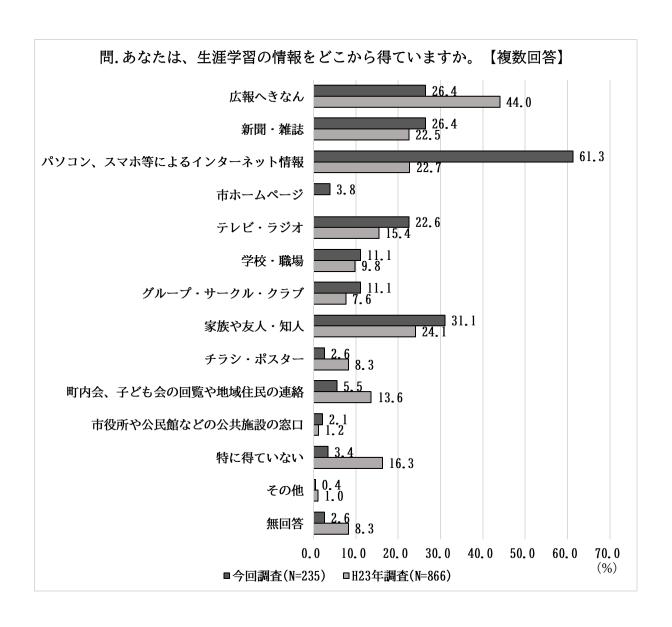


(6) 本市の生涯学習の情報

① 情報収集の手段

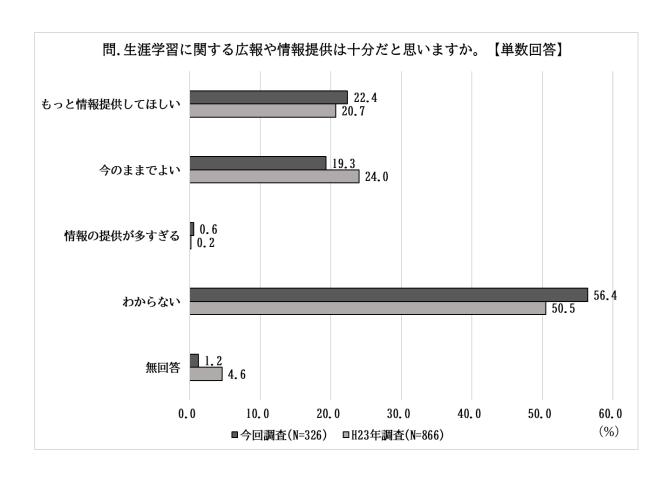
情報収集の手段については、前回調査より「パソコン、スマホ等によるインターネット 情報」、「テレビ・ラジオ」が大幅に多くなっています。

一方で「広報へきなん」、「チラシ・ポスター」などの紙面による情報収集は減少して きている傾向が見られました。



② 市が行っている情報提供への評価

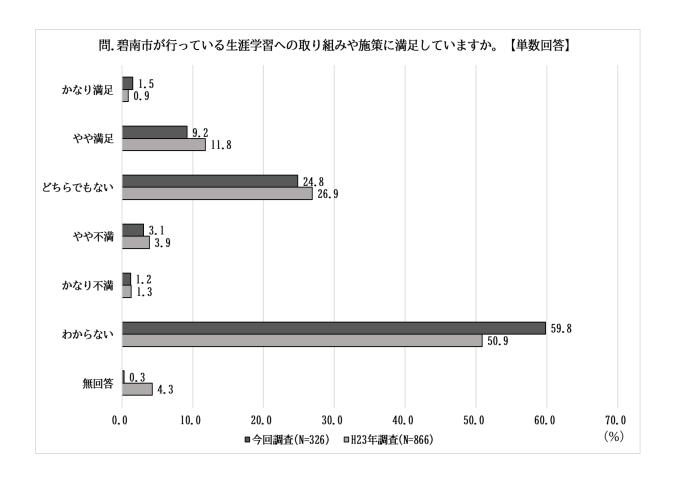
市の情報提供については、前回調査とあまり変化は見られませんでした。回答の多くは「わからない」であり、市の情報提供が住民に届いているのか、また判断することもできない状況にあると考えられます。



(7) 今後の本市の生涯学習施策

① 市の生涯学習施策への満足度

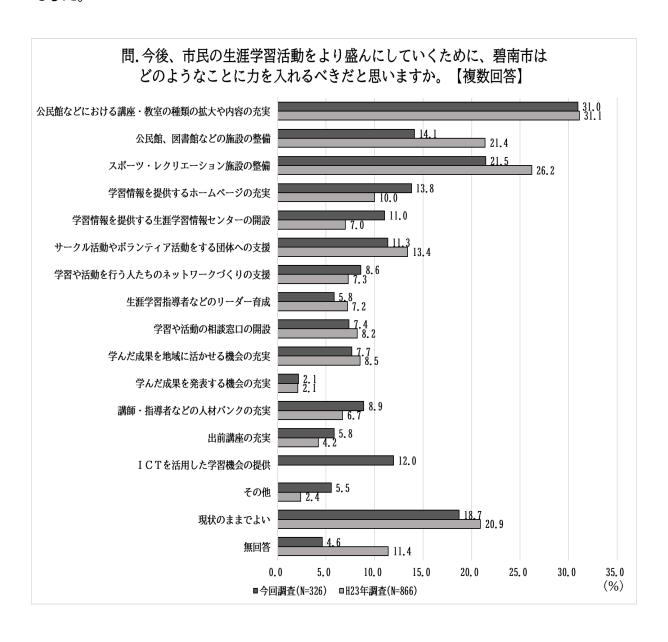
市の生涯学習施策への満足度は、前回調査とあまり変化は見られませんでした。回答の多くは「わからない」であり、市の生涯学習施策について判断することができない状況にあると考えられます。



② 今後、市が力を入れるべきこと

市が力を入れるべきことは、「学習情報を提供するホームページの充実」、「学習を提供する生涯学習センターの開設」へのポイントが多くなり、「公民館・図書館などの整備」、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」へのポイントが減少し、施設よりも情報を求める声が増えている傾向が見られました。

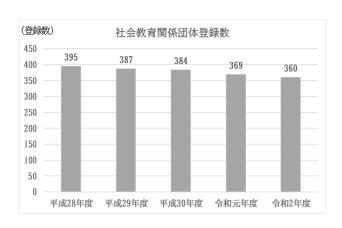
また、今回の調査から加えた項目である「ICTを活用した学習機会の提供」は12%でした。



3 碧南市の生涯学習事業の実績

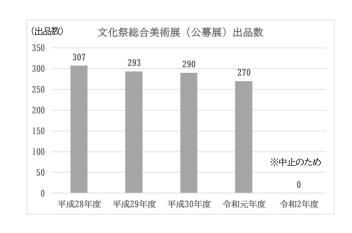
本市の生涯学習事業の実績については下記のとおりでした。

(1) 碧南市では一定の基準を満たした 社会教育関係団体*に対し、施設使用 料の半額減免や活動PRなどの支援 を行っていますが、団体登録数は年 々減少しています。

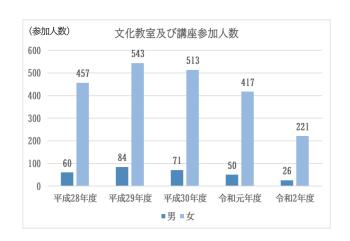


※社会教育関係団体:文化芸術活動やスポーツ、レクリエーション活動などの、「社会教育に関する 活動」を行うことを主な目的とし、社会教育の発展に寄与している団体。

(2) 碧南市文化祭では5部門(日本画、 洋画、彫塑工芸、書、写真)の公募 作品を展示する総合美術展を、文化 会館で毎年開催していますが、出品 者の高齢化などにより、出品数は減 少傾向にあります。



(3) 文化会館や公民館では、生涯学習 に関する各種講座・教室を幅広く実 施していますが、参加人数は減少傾 向にあります。また、男女別にみた 特徴としては、女性の参加率と比較 して男性の参加率が圧倒的に低いことがあげられます。



※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、(1)~(3)について数値が大幅に減少しています。

4 碧南市の生涯学習の主要課題

アンケート結果などから、本市の生涯学習の主要課題を次のとおりまとめました。

主要課題 1 多様な学習ニーズやライフステージに合わせた学習提供

子どもから高齢者まで、誰もが生涯にわたって学習する環境づくりが必要です。

しかし、アンケート結果からもわかるように、「時間に余裕がない」、「育児・家事・ 介護などで忙しい」などの様々な理由によって、現代社会において生涯学習の時間を確保 することが難しい状況になっています。

今後は幅広いライフスタイルやライフステージなどの状況に応じて、いつでも、どこで も、必要とする時に学習することができるように、多様化した学習ニーズに対応した学習 機会の提供が求められています。

また、ICTを活用するなど、「新しい生活様式」に対応した、多様で柔軟性のある学 習機会の充実も必要です。

主要課題2 学習成果の地域還元への取り組み

市民一人ひとりが、学習した成果を自分自身のためだけではなく、社会や地域の中で活かすことができる仕組みづくりが重要です。

しかしながら、市民の学習目的としては「個人の楽しみとして」や「健康維持・増進の ため」、「家庭生活に役立てるため」などが主流であり、学習成果を社会貢献や地域活動 に結びつける生涯学習ニーズは、依然として低い水準にとどまっています。

今後とも、地域の歴史、地域文化及び地域課題などの学習機会の提供や、地域と連携した活動を通して、自身が地域の一員であることを理解し、学習の成果を地域との関わりに繋げる取り組みが必要です。

主要課題3 関係機関との交流・連携強化

地域社会のつながりや支えあいの希薄化が進んでおり、地域組織の結びつきが弱くなってきています。また、地域や学校が抱える課題も複雑化及び多様化してきています。

地域での教育力の向上のためにも、行政、家庭、学校、地域、各関係機関などの多様な

主体との協働により、生涯学習を通じた仲間や地域づくりを進めることがさらに求められます。

また、市民に専門性の高い多様な学習機会を提供するため、大学などの高等教育機関や 民間事業者、国・県・近隣市などの様々な関係機関との連携強化も図っていく必要があり ます。

主要課題4 学習を支える新たな人材の発掘・育成

近年、自主的に活動するグループは、指導者や受講者の高齢化などの理由から解散する傾向にあり、本市の社会教育関係団体登録数も年々減少しています。今後は既存グループへの新たな参加者の加入促進や生涯学習を通じた仲間づくりへの支援が必要です。

また、優秀な指導者を発掘し、自ら学んだ学習活動の成果を他の人々に伝える仕組みづくりをしていくことが必要です。指導することは、さらなる学習意欲ややりがいを持つことに繋がります。指導者も受講者もともに学びあう環境づくりが必要です。

主要課題5 生涯学習情報の提供・相談体制の充実

生涯学習に関する講座やイベントは様々な学習拠点にて幅広いテーマで開催されており、 情報の把握・集約が難しいことから、生涯学習情報の一元化に努めるとともに、ICTの 活用など多様な方法で市民にわかりやすく情報を提供することが必要です。

また、学習活動に意欲のある市民の相談に対し、様々な学習上での課題を解決するための体制づくりも必要です。

主要課題6 生涯学習関連施設の整備と利便性の向上

生涯学習活動の場となる各施設において、経年による老朽化が進んでいます。

今後の施設のあり方を含めて検討しながら計画的な改築や改修を施すことで、利用者の 利便性や安全を確保することが必要です。

また、公共施設を効果的に活用するため、施設のネットワーク化などを進め、生涯学習の地域拠点施設としての充実を図る必要があります。

第3章 基本構想

1 基本理念

第6次碧南市総合計画のめざす将来像や社会的背景を踏まえ、生涯学習活動を通じてだれもが活躍できる市民協働の社会をめざし、本計画の基本理念を次のとおり掲げます。

『だれもが楽しく学び ともに輝くまち へきなん』

市民一人ひとりがいつでも、どこでも、生涯にわたって、いきいきと学び、 その成果を地域社会に活かすことで、自分らしく活躍できるまちづくりを めざします。



2 基本目標

本計画の基本理念である「だれもが楽しく学び ともに輝くまち へきなん」の実現に向けて、次の3つを基本目標として設定し、具体的な施策の展開を図ります。

基本目標1 学びを育むきっかけづくり

多様化する学習ニーズに対応しながら、市民が性別や国籍、障害の有無に関係なく、生涯にわたって、いつでも、どこでも、必要とするときに学習することができる社会をめざします。そのために、ライフスタイルやライフステージに応じた学習機会や学習内容の提供をめざします。また、オンライン講座の開設やデジタルコンテンツによる学習スタイルの提供など、ICTを活用した学習機会の提供に努めます。

さらには、成果発表の場や地域で活躍できる場を提供することにより、個人の学習意欲 や技術習得の向上を図ります。

基本目標2 学びがつなげる地域づくり

地域のつながりの希薄化が課題となっている現代において、生涯学習活動を通して地域 について理解を深めることで郷土への愛着や誇りを育てるとともに、個人・団体・組織間 相互の連携を強化することで、地域全体での教育力の向上をめざします。

また、市民の自主的な学習活動を支援するため、活動を支援・牽引する指導者の発掘・ 育成に努めるとともに、学習意欲のある市民と生涯学習機会とを効果的に結びつけるコー ディネート機能の充実を図ります。

基本目標3 学びを支える体制づくり

多様化する学習課題や学習ニーズを的確に把握し、生涯学習に関する様々な情報の提供を行うとともに、生涯学習に取り組む市民の相談に対応し、市民の学習活動等を支援する ための体制づくりをめざします。

また、市民の学習活動の環境整備のため、生涯学習関連施設の計画的な維持管理を行う とともに、施設のICT化を推進し利便性の高い施設・設備となるように改修を進めます。

3 計画の指標

≪生涯学習活動実施率≫

今回の市民アンケート調査において、何らかの学習や活動をしている人の割合は、 72%でした。

学習機会・内容の充実に努めるとともに、学習活動の支援を行うことにより、本計画の 目標年度である令和13年度にこの割合を80%まで伸ばすことを目標とします。

【本計画】

現状(令和3年度)	目標(令和13年度)			
7 2 %	80%			

なお、平成23年度の第2次生涯学習推進計画では、何らかの学習や活動をしている人の割合60%を令和3年度までに70%まで伸ばすことを目標としていました。

【前回計画】

前回(平成23年度)	目標(令和3年度)
60%	7 0 %

※【生涯学習活動実施率】

18歳以上を対象とした市民アンケートの項目で、何らかの学習や活動をしていると回答した率

4 計画の体系図

基本目標	施策の方針	具体的施策
1 学びを	1 多様な学習機会の提供	①市民ニーズに応じた講座の開催 ②出前講座の充実 ③芸術文化に関する学習機会の充実 ④健康づくりのための学習機会の充実 ⑤スポーツ・レクリエーションのための 学習機会の充実 ⑥ICTを活用した学習機会の充実
学びを育むきっかけづくり	2 多様な人々に合わせた学習支援	①乳幼児期の学習支援 ②青少年期の学習支援 ③成人期の学習支援 ④高齢期の学習支援 ⑤障害のある人への学習支援 ⑥外国人住民への学習支援
\(\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	3 成果発表や活躍できる場の充実	①自主グループ化への支援 ②成果発表の場の充実 ③社会教育関係団体への支援 ④公共施設の有効活用 ⑤学習成果の活用の仕組みづくり
2 学びがつなげる地	1 家庭・学校・地域・関係機関 との連携強化	①生涯学習活動に関わる団体相互の連携 強化 ②親子ふれあい活動の推進 ③青少年健全育成の推進 ④教育普及活動の充実 ⑤大学や民間事業者との連携 ⑥国・県・近隣市との連携 ⑦地域学校協働活動の推進
6地域づくり	2 指導者・ボランティア人材の 発掘と育成	①人材の発掘・育成 ②コーディネーターの育成 ③指導者登録の推進 ④次世代リーダーの育成 ⑤ボランティアの育成
	3 地域に関する学習の推進	①地域と連携した学習の推進 ②地域の文化や歴史の学習の推進
3 体学	1 情報提供の充実	①生涯学習に関する情報提供の充実 ②公共施設予約システムの充実 ③ I C T の活用による情報提供の充実
体制づくり	2 相談・支援体制の充実	①相談窓口の充実 ②クラブ・サークル情報の充実 ③子ども・若者の相談体制の充実
3	3 生涯学習施設の維持管理と 利活用	①生涯学習関連施設の整備 ② I C T環境の整備・充実

5 計画とSDGsの関係

SDGs(エスディージーズ)とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月の国連サミットにおいて、加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標です。

この目標は、持続可能な社会を実現するための17の目標(めざすべき姿)、169の ターゲット(具体的な取組)から構成されており、地球上の「誰一人取り残さない」社会 の実現を目指し、経済・社会・環境の三側面から広範囲な課題に対する統合的な取組を示 しています。

第6次碧南市総合計画では、SDGsが掲げる17の目標のうち「4 質の高い教育を みんなに」、「11 住み続けられるまちづくりを」、「17 パートナーシップで目標を 達成しよう」を生涯学習と関連づけています。

	目標	第6次碧南市総合計画における 生涯学習の主な施策の方針
4 質の高い教育を みんなに	4 質の高い教育をみんなに	・生涯学習機会の拡充
11 住み続けられる まちづくりを	11 住み続けられるまちづくりを	・生涯学習・スポーツ施設の維持管理・整備
17 パートナーシップで 日報を達成しよう	17 パートナーシップで目標を 達成しよう	・地域と連携した生涯学習の推進

SUSTAINABLE GALS



第4章 基本計画



■ 基本目標1 学びを育むきっかけづくり

(1) 多様な学習機会の提供

市民一人ひとりの生活スタイルや価値観、社会情勢の変化に伴い、個人の生涯学習活動に対するニーズはさらに多様化が進んでいます。

その多様化したニーズは、趣味、目的、時間、場所、手法など様々であり、市民の学習 ニーズを的確に把握し、住民が必要な学習をいつでもどこでも気軽に学べる学習環境を提 供していく必要があります。

施策	内容
①市民ニーズに応じた講座の 開催	 ・従来行われている講座の構成や内容を適宜見直し、 現代的課題や市民ニーズに対応した魅力ある講座を 企画・実施します。また、講座の周知方法について も柔軟に見直し、これまでに受講したことのない市 民の参加を促します。 ・市民一人ひとりのライフスタイルに対応した講座の 開設時間や開催場所などを設定します。
②出前講座の充実	・市が行っている事業や施策を知っていただくため、 また、協働のまちづくりを推進するため、一層の出 前講座の充実を図ります。また、幅広い年齢層に対 応した講座メニューの充実を図ります。
③芸術文化に関する学習機会 の充実	・講座やイベント、美術展などを通して、多くの市民 が優れた芸術文化にふれることができる機会を提供 し、市民による自主的な文化芸術活動を支援しま す。
④健康づくりのための学習機会 の充実	・健康づくりに関する団体等と連携し、健康づくり運動の推進や協働イベントの開催など、身近な地域で 多世代が参加できる事業を展開します。

施策	内容
⑤スポーツ・レクリエーション のための学習機会の充実	・スポーツ教室や健康づくり講座の開催など、市民が 気軽に継続的にスポーツに親しむことができる環境 づくりを推進します。また、レクリエーションやニ ュースポーツ・若者向けのスポーツなどのスポーツ 事業を実施し、スポーツの推進と地域の活性化をめ ざします。
⑥ I C T を活用した学習機会の 充実	・これまでの対面式の講座提供に加え、オンライン方式での講座の開催を図ります。・動画配信によるリモート学習など、多様なデジタルコンテンツを活用した学習機会の提供に努めます。



出前講座

(2) 多様な人々に合わせた学習支援

市民が生涯にわたって学習活動を継続していくためには、ライフステージに応じた学習機会の充実が不可欠であり、乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期といった各年代において、ふさわしい学習課題を選択し興味がもてる生涯学習活動に取り組んでいく必要があります。

また、年齢だけでなく、性別や国籍、障害の有無などに左右されることなく、多様な 人々の誰もが学びたいときに学べる環境づくりも必要です。

施策	内容
	・乳幼児をもつ子育て家庭に対し、子育て支援センター等を
①乳幼児期の学習支援	通して、親子のふれあいの機会や育児に関する学習の場を
	提供し、家庭教育支援を推進します。
	・青少年の社会的・職業的な自立のため、生涯学習講座等に
 ②青少年期の学習支援	おいてキャリア教育*を推進していきます。
少月少午別の子自又版	・有害な社会環境から青少年を守るため、非行防止意識を高
	めるための教室や講座等を実施します。
	・高等教育機関などと連携し、社会に出た人が自己実現や職
 ③成人期の学習支援	業能力の向上などに必要な知識、技能、教養を身につける
① NA八州 07 子白 X 18	ための学習機会を提供し、リカレント教育*の充実を図り
	ます。
	・高齢者の健康で生きがいのある生活を支援するため、介護
	予防事業などを実施し、気軽に社会参加できる機会を提供
④高齢期の学習支援	します。
	・シルバー人材センター等を通して、高齢者が知識・経験・
	技能を地域社会に還元できる機会の提供を図ります。
⑤障害のある人への	・障害のある人が様々な学習機会を得られるよう、障害者の
学習支援	スポーツ活動や文化芸術活動の支援をはじめ、障害者に配
于自义派	慮した支援事業の充実に努めます。
	・外国人住民が豊かな生涯学習活動ができるように、言語や
⑥外国人住民への学習	生活習慣等の違いに対応した学習機会の提供に努めます。
支援	・外国人住民と日本人住民が交流し、文化や習慣など相互理
	解を深め、共に学びあう学習機会の提供を図ります。

※キャリア教育:一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

**リカレント教育:学校教育から離れて社会に出た後に、教育と就労のサイクルを周期的に繰り返す 教育制度のこと。「学び直し教育」とも。

(3) 成果発表や活躍できる場の充実

学習の成果を発表することや地域社会で活かすことは、個人の学習意欲や技術習得を向上させるとともに、地域社会の活性化にも繋がります。人生100年時代において、持続可能な生涯学習及び学習意欲の向上のためにも、成果発表や地域で活躍できる場を提供していく必要があります。

また、新たな学習機会の提供や人材発掘のためにも、自主的なグループ活動への支援や 市内にある特色ある施設を有効活用し、魅力ある事業展開や施設利用を促していく必要が あります。

施策	内容
①自主グループ化への支援	・各種講座の終了後、受講者が新たな団体として学習 活動を継続できるよう、自主グループに発展するた めの支援を行います。
②成果発表の場の充実	・文化祭、公民館まつり、各種作品展・発表会など、 学習成果を広く市民に発表する場の充実を図りま す。
③社会教育関係団体への支援	・一定の基準を満たした登録団体に対して、施設使用 料や活動PRなどの面において支援を行います。
④公共施設の有効活用	・音楽や演劇の講演会、美術展など、各施設の特性を 生かした事業を展開し、学習成果が地域に根付くた めの支援を行います。
⑤学習成果の活用の仕組み づくり	・各種講座の修了者が、その成果を発表会や展示会で 活用するなど、学習活動で培った知識や技能を地域 社会の中で活用できるような仕組みづくりを推進し ます。







学ぼまい生涯学習



基本目標2 学びがつなげる地域づくり

(1) 家庭・学校・地域・関係機関との連携強化

地域全体で教育力の向上に取り組む社会を目指すため、個人や家庭のみならず、学校、 地域及び各関係団体が連携して取り組むことが必要です。

また、専門性の高い高度な学習を得るため大学などの専門機関、民間のノウハウを得た効果的な学習機会の提供など幅広い機関と連携して共に学びあう体制づくりをしていく必要があります。

施策	内容
①生涯学習活動に関わる団体 相互の連携強化	・HEXPO STAFF、子ども会、青少年育成推 進員など、生涯学習活動に関わる団体相互の連携強 化を図ります。
②親子ふれあい活動の推進	・公民館を拠点とした親子のふれあい活動を充実し、 活動の担い手となっている「青少年育成推進員」、 「おやじの会」などの活動を支援します。
③青少年健全育成の推進	・非行の防止、モラル向上のため、青少年育成推進委員などの市民団体による啓発活動やパトロール活動 を推進します。
④教育普及活動の充実	・図書館、美術館、水族館などにおいて、小中学校と の連携による教育普及活動を行うとともに、講演会 やワークショップなどの充実を図ります。
⑤大学や民間事業者との連携	・地域社会への貢献を目的とする活動を行う大学や民 間事業者と連携し、生涯学習講座などの充実を図り ます。
⑥国・県・近隣市との連携	・円滑な生涯学習施策を遂行するため、国や県との連携・協力体制の強化を図ります。また、市民の生涯 学習活動の幅を広げるため、近隣市との相互協力や 情報交換を推進します。
⑦地域学校協働活動の推進	・地域と連携し、子どもたちが安心して居場所を確保 しながら様々な体験や学びに触れられるよう、放課 後子ども教室などの地域学校協働活動を推進してい きます。

(2) 指導者・ボランティア人材の発掘と育成

市民の自主的な生涯学習を推進するためには、学習活動に対して助言する高度な知識や 技術をもった指導者の存在が不可欠であり、様々な分野での指導者の発掘・育成に努める 必要があります。

また、指導者としてボランティア活動をしていただける人の発掘及び活躍の場を提供し、 地域で活躍できる仕組みづくりをしてく必要があります。

施策	内容
	・HEXPO STAFFや文化協会などの生涯学習
	活動に関わる団体への支援を通じて、指導者やボラ
①人材の発掘・育成	ンティアとなる人材の発掘と育成を図ります。
	・未来の担い手となる人材を育成するための新たな方
	策を検討していきます。
	・地域の課題解決のため、学習相談に応じたり地域活
②コーディネーターの育成	動を支援したりする生涯学習コーディネーターの育
	成を図ります。
	・市民・社会教育関係団体、学校、サークル等の要望
③指導者登録の推進	に応じて指導者を紹介するため、生涯学習の分野で
	活躍している指導者リストの充実を図ります。
	・HEXPO STAFF活動事業や成人式事業など
	を通して、若者が主体となって企画・運営する事業
④次世代リーダーの育成	を推進し、生涯学習事業に関わらず将来的に幅広い
	分野でのまちづくりを担う次世代リーダーの育成を
	図ります。
	・ボランティアの活動拠点の提供、ボランティアの養
	成講座の実施、ボランティアに関する情報提供・相
	談などを通して、ボランティアを始めるためのノウ
⑤ボランティアの育成	ハウや体験の場の提供に努めます。また、ボランテ
	ィア活動をより活発化させるために、ボランティア
	団体同士の交流の場の提供や、スキルアップ講座の
	開催を図ります。



HEXPO STAFF



成人式

(3) 地域に関する学習の推進

生涯学習活動を通してこの地域の文化や歴史、風習などを学ぶことで、郷土への愛着や 誇りを育て、自身が地域社会の一員であることの自覚を育む取り組みが必要です。

また、地域の各関係機関と連携・協力をして地域全体で学びあい、地域コミュニティの活性化や住みよい地域社会の構築に繋がるような取り組みをしてく必要があります。

施策	内容	
①地域と連携した学習の推進	・各関係機関と協力をして講座やイベントを開催し、 地域課題の解決やボランティアなどの住民主体の地域活動を推進します。	
②地域の文化や歴史の学習の 推進	・郷土の文化や歴史、風習、地域資源に関する情報発信や学べる講座を開催します。・郷土資料の収集や公開をし、市民の郷土に関する学習機会の充実を図ります。	



もちつき大会(おやじの会)



稲刈り (おやじの会)

4 第の高い程序を 11 住み続けられる まちづくりを まちづくりを 11 日本続けられる まちづくりを 11 日本続けられる まちづくり 11 日本統分 11 日本統分

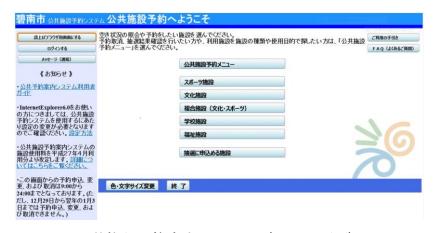
基本目標3 学びを支える体制づくり

(1)情報提供の充実

生涯学習活動に関する講座やイベント、各団体の活動は、幅広い内容で多くの種類が行われており、その情報を整理して市民に分かりやすく、必要な人に的確な情報を様々な媒体や手法で提供していく必要があります。

また、公共施設の利用促進を図るため予約方法に関する情報や手法を分かりやすく周知 するとともに、予約システムの充実をしていく必要があります。

施策	内容
①生涯学習に関する情報提供 の充実	 ・生涯学習に関する講座やイベントなどを、広報をは じめホームページや公式SNSなど、様々な媒体で 分かりやすく見つけやすい学習情報を提供します。 ・各団体や自主グループの活性化を図るため、活動内 容や活動日などの団体の情報を広く周知します。 ・外国人住民への情報発信のため、多言語に対応した 学習情報の提供に努めます。
②公共施設予約システムの 充実	・学習活動の拠点となる公民館やスポーツ施設の利用 について、施設予約の際の市民の利便性向上のた め、公共施設予約システムの充実を図ります。
③ I C T の活用による情報 提供の充実	・ホームページや公式SNSなどのICTツールを活用し、さまざまな年齢層やターゲットに対して生涯学習情報を提供します。・ICTの普及・進展にあわせて、新たな情報提供の方法を研究し、効果的な情報提供を推進していきます。



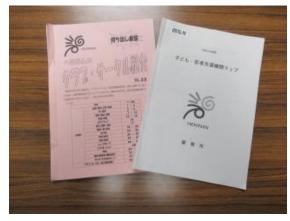
公共施設予約案内システム(ホーム画面)

(2) 相談・支援体制の充実

生涯学習に取り組む市民に、必要としている情報を入手しやすく提供するとともに、活動するうえでの悩みや疑問などの相談に対応し、市民一人ひとりにあった生涯学習活動が行われるように支援します。

また、市民や団体の、様々な学習や生活上の不安・悩みの解決に向けて、気軽に相談で きるよう、関係機関・団体等と連携し、相談体制の充実を図ります。

施策	内容	
①相談窓口の充実	・市や関係機関、団体、自主サークルなどが行っている生涯学習関連事業や各種講座、イベントの情報を 把握・集約し、生涯学習に取り組む市民からの相談 に応じることができる体制づくりに努めます。	
②クラブ・サークル情報の 充実	・文化芸術・生涯学習・スポーツなど、自主的な活動 を行っているクラブ・サークル(社会教育関係団 体)情報の充実を図り、講師や団体などの紹介を行 います。	
③子ども・若者の相談体制 の充実	・不登校、ひきこもりなど、社会生活を円滑に営む上 で困難を有する子ども・若者の相談に応じ、その子 ども・若者の状況に応じて支援機関につなぎます。	



クラブ・サークル紹介(左) 子供・若者支援マップ(右)



クラブ活動の様子

(3) 生涯学習施設の維持管理と利活用

市民がいつでもどこでも生涯学習活動に参加できる環境を整備していくために、身近な 学習の場である公共施設の整備をしていく必要があります。そのため、公共施設の計画的 な整備・改修を行い、その機能の充実を図り、限られた施設の有効活用に努めます。

また、施設の安全性を確保することはもとより、多様化する学習・利用ニーズに応えられるようにICT環境などの整備などを計画的に行う必要があります。

施策	内容
	・文化施設・スポーツ施設ともに老朽化が進んでいる
①生涯学習関連施設の整備	ため、利用者の安全や利便性を確保するため、計画
	的な改築や改修を行います。
	・公共施設の利便性向上のため、各施設における無線
 ②ICT環境の整備・充実	LANなどのネット環境の整備を検討し、ICTを
②101環境の発揮・元美	活用した学習活動に必要なパソコンやタブレットな
	どの情報端末の導入についても検討します。



電子図書

第5章

第5章 計画の推進に向けて

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市民や活動団体、学校、地域、大学、NPO法人、企業などと行政が協働・連携して取り組むとともに、庁内の関係部局との連携を強化しながら、施策の実施や進捗管理を行います。

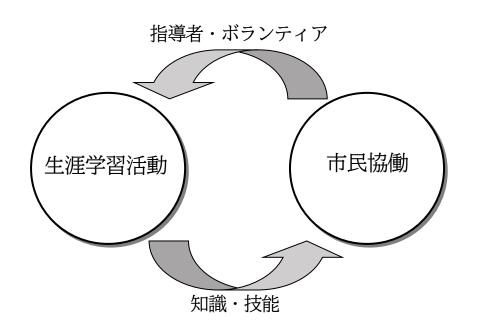
2 生涯学習と持続可能な市民協働のまちづくり

生涯学習活動を推進するとともに、学びで得た知識や技能を地域で活かすことで、とも に支え合い、だれもが活躍できる市民協働の社会を目指します。

また、市民協働から得た経験やノウハウを通じて、指導者やコーディネーター、ボラン ティアなどの人材育成に繋げることで、さらなる生涯学習活動へ展開していきます。

こうした生涯学習活動と市民協働の循環から、地域全体の活力や教育力を向上させ、一 人ひとりが輝ける持続可能な市民協働のまちづくりをめざします。

生涯学習と持続可能な市民協働のまちづくり



3 計画の進捗把握と評価

本計画を効果的・効率的に推進していくために、PDCAサイクルを用いて各施策の進 捗状況を把握し、必要に応じて改善していきます。

また、担当部局である生涯学習課を中心に、社会教育委員や庁内の会議体などにおいて、 各施策の進捗状況の点検・評価を行います。





資料 1 生涯学習に関する市民アンケート調査結果

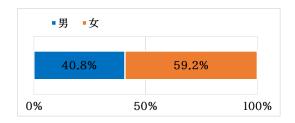
(1) 調査概要

- 調査対象 住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の1,000人
- 実施期日 令和3年7月14日(提出期限は7月31日)
- 回収結果 有効回答数326人、有効回答率32.6%

(2) 集計結果

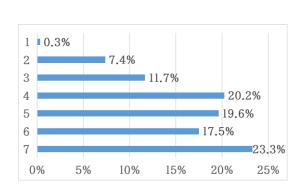
問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	男	133	40.8%
2	女	193	59.2%
	回答者数	326	100%



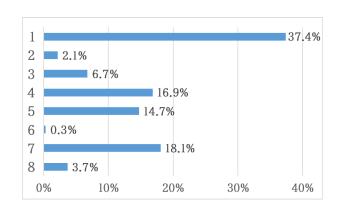
問2 あなたの年齢を教えてください。(令和3年7月1日時点)(○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	10歳代	1	0.3%
2	20歳代	24	7.4%
3	30歳代	38	11.7%
4	40歳代	66	20.2%
5	50歳代	64	19.6%
6	60歳代	57	17.5%
7	70歳以上	76	23.3%
	回答者数	326	100%



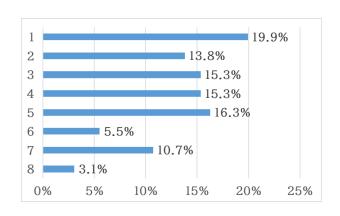
問3 あなたの職業を教えてください。 (○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	会社員	122	37.4%
2	公務員	7	2.1%
3	自営業	22	6.7%
4	パートタイマー・アルバイト	55	16.9%
5	専業主婦	48	14.7%
6	学生	1	0.3%
7	無職	59	18.1%
8	その他	12	3.7%
	回答者数	326	100%



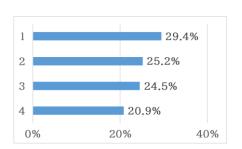
問4 あなたのお住まいの地域はどちらですか。 (○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	新川小学校区	65	19.9%
2	中央小学校区	45	13.8%
3	大浜小学校区	50	15.3%
4	棚尾小学校区	50	15.3%
5	鷲塚小学校区	53	16.3%
6	日進小学校区	18	5.5%
7	西端小学校区	35	10.7%
8	わからない	10	3.1%
	回答者数	326	100%



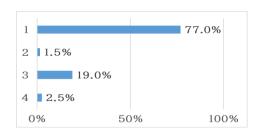
問5 あなたは、「生涯学習」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	知っている	96	29.4%
2	だいたい知っている	82	25.2%
3	聞いた事はあるが意味は知らない	80	24.5%
4	初めて聞いた	68	20.9%
	回答者数	326	100%



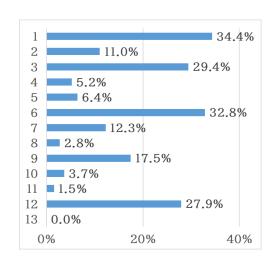
問6 あなたは、「(学校を卒業してからも)生涯にわたって学び続ける必要がある」という考え方についてどのように思いますか。(○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	必要なことだと思う	251	77.0%
2	必要なことだと思わない	5	1.5%
3	よくわからない	62	19.0%
4	その他	8	2.5%
	回答者数	326	100%



問7 あなたは、今どのような生涯学習を行っていますか。 (○は3つまで)

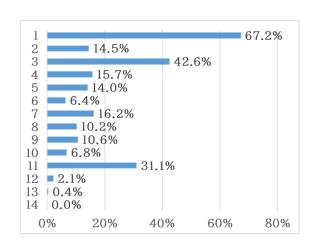
	選択肢	件数	%
1	趣味·芸術	112	34.4%
2	教養	36	11.0%
3	家庭生活	96	29.4%
4	社会問題	17	5.2%
5	安全や防災	21	6.4%
6	健康や体力づくり	107	32.8%
7	職業上の知識や資格	40	12.3%
8	国際交流	9	2.8%
9	IT	57	17.5%
10	まちづくり・地域づくり活動	12	3.7%
11	その他	5	1.5%
12	特に生涯学習をしていない	91	27.9%
13	無回答	0	0.0%
	回答者数	603	



※「12」を選んだ方は【問16】へ

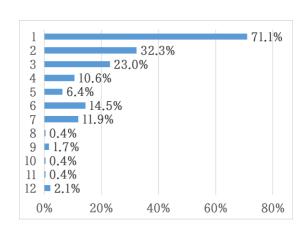
問8 あなたは、何のために生涯学習に取り組んでいますか。 (○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	個人の楽しみとして	158	67.2%
2	交流・交友を深めるため	34	14.5%
3	健康維持・増進のため	100	42.6%
4	余暇の有効利用のため	37	15.7%
5	教養・技能習得のため	33	14.0%
6	将来に役立てるため	15	6.4%
7	仕事や就職・転職に役立てるため	38	16.2%
8	地域や社会に役立てるため	24	10.2%
9	社会の変化に対応するため	25	10.6%
10	資格を取得するため	16	6.8%
11	家庭生活に役立てるため	73	31.1%
12	その他	5	2.1%
13	特に理由はない	1	0.4%
14	無回答	0	0.0%
	回答者数	559	



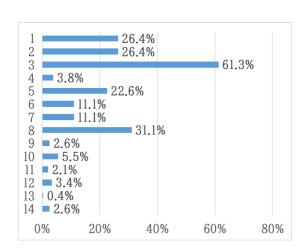
問9 あなたは、どのような方法で生涯学習をしていますか。 (○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、 インターネットなどから学ぶ	167	71.1%
2	個人で健康づくりに取り組む	76	32.3%
3	グループ・サークル活動などに参加して学ぶ	54	23.0%
4	市が主催する講座や教室に参加して学ぶ	25	10.6%
5	町内会や地域の団体が開催する講座や教室で学ぶ	15	6.4%
6	職場内の研修や教育によって学ぶ	34	14.5%
7	民間の講座や教室に参加して学ぶ	28	11.9%
8	専門学校、大学などの公開講座によって学ぶ	1	0.4%
9	放送大学、通信教育を利用して学ぶ	4	1.7%
10	専門学校、大学などへの社会人入学や 聴講生としての受講によって学ぶ	1	0.4%
11	その他	1	0.4%
12	無回答	5	2.1%
	回答者数	411	



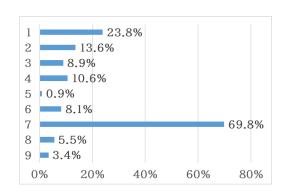
問10 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。 (○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	広報へきなん	62	26.4%
2	新聞·雑誌	62	26.4%
3	パソコン、スマホ等によるインターネット情報	144	61.3%
4	市ホームページ	9	3.8%
5	テレビ・ラジオ	53	22.6%
6	学校·職場	26	11.1%
7	グループ・サークル・クラブ	26	11.1%
8	家族や友人・知人	73	31.1%
9	チラシ・ポスター	6	2.6%
10	町内会、子ども会の回覧や地域住民の連絡	13	5.5%
11	市役所や公民館などの公共施設の窓口	5	2.1%
12	特に得ていない	8	3.4%
13	その他	1	0.4%
14	無回答	6	2.6%
	回答者数	494	



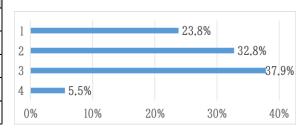
問11 あなたは、主にどんな場所で生涯学習をしていますか。 (○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	文化会館、公民館、図書館などの公共施設	56	23.8%
2	臨海体育館、小中学校施設などの公共スポーツ施設	32	13.6%
3	区民館	21	8.9%
4	民間施設	25	10.6%
5	高校・大学の施設	2	0.9%
6	碧南市以外の公共施設	19	8.1%
7	自宅や個人宅	164	69.8%
8	その他	13	5.5%
9	無回答	8	3.4%
	回答者数	340	



問12 あなたは、生涯学習で学んだ成果を地域や社会で活かしていますか。 (○は1つ)

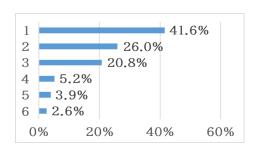
	選択肢	件数	%
1	すでに活かしている	56	23.8%
2	活かしたいと思うが、今はできていない	77	32.8%
3	活かそうと思わない	89	37.9%
4	無回答	13	5.5%
	回答者数	235	100%



※【問13】は【問12】で「2」を選んだ方のみお答えください。

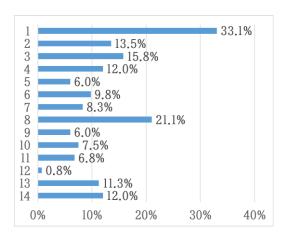
問13 あなたが、問12で「活かしたいと思うが、今はできない」とした理由は何です か。 (○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	時間に余裕がない	32	41.6%
2	きっかけがない	20	26.0%
3	方法がわからない	16	20.8%
4	場所がない	4	5.2%
5	その他	3	3.9%
6	無回答	2	2.6%
	回答者数	77	100%



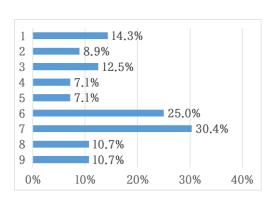
- ※【問14】は【問12】で「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。
- 問14 あなたは、生涯学習で学んだことを地域や社会で主にどのような活動に活かした いと思っていますか。(○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	スポーツ・文化活動	44	33.1%
2	地域の子どものためのレクリエーション活動や 自然体験活動など	18	13.5%
3	障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	21	15.8%
4	地域の環境保全活動	16	12.0%
5	国際交流活動	8	6.0%
6	防犯、防災活動	13	9.8%
7	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	11	8.3%
8	子育て・育児を支援する活動	28	21.1%
9	地域が学校と協働する活動	8	6.0%
10	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	10	7.5%
11	高齢時の就業	9	6.8%
12	民生委員・児童委員、保護司、人権擁護委員等としての活動	1	0.8%
13	その他	15	11.3%
14	無回答	16	12.0%
	回答者数	218	



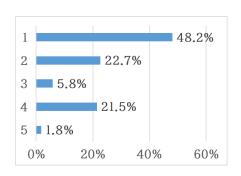
- ※【問15】は【問12】で「1」を選んだ方のみお答えください。
- 問15 生涯学習で学んだことを地域や社会で活かしていると回答した方にお尋ねします。 それは主にどのようなかかわり方で活かしていますか。 (○は2つまで)

	選択肢	件数	%
1	講師・指導者として活動している	8	14.3%
2	事業や活動を企画している	5	8.9%
3	活動の普及・啓発を行っている	7	12.5%
4	市政に参加している・協力している	4	7.1%
5	町内会活動に活かしている	4	7.1%
6	ボランティアとして活動している	14	25.0%
7	職業を通して社会貢献に活かしている	17	30.4%
8	その他	6	10.7%
9	無回答	6	10.7%
	回答者数	71	



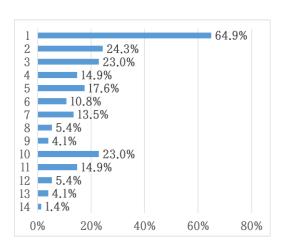
問16 あなたは、今後(または引き続き)、生涯学習をしたいと思いますか。 (○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	したいと思う	157	48.2%
2	きっかけや条件が整えばしてみたい	74	22.7%
3	したいとは思わない	19	5.8%
4	どちらともいえない、わからない	70	21.5%
5	その他	6	1.8%
	回答者数	326	100%



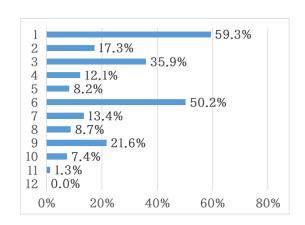
- ※「3」または「4」を選んだ方は【問21】へ
- ※【問17】は【問16】で「2」を選んだ方のみお答えください。
 問17 あなたが生涯学習をする上で、支障となることは何ですか。 (○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	時間に余裕がない	48	64.9%
2	講座や教室の時間が不都合	18	24.3%
3	必要な情報が得られない	17	23.0%
4	自分に合うものがない	11	14.9%
5	一緒に学習や活動をする仲間がいない	13	17.6%
6	身近なところに施設や場所がない	8	10.8%
7	良い学習内容のものがない	10	13.5%
8	良い指導者・講師がいない	4	5.4%
9	家族や職場など周囲の理解が得られない	3	4.1%
10	育児・家事・介護などで忙しい	17	23.0%
11	経済的理由	11	14.9%
12	特に必要性を感じない	4	5.4%
13	その他	3	4.1%
14	無回答	1	1.4%
	回答者数	168	



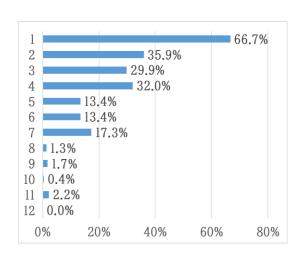
※【問18~問20】は【問16】で「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。
問18 あなたは、今後どのような生涯学習をしていきたいですか。(○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	趣味·芸術	137	59.3%
2	教養	40	17.3%
3	家庭生活	83	35.9%
4	社会問題	28	12.1%
5	安全や防災	19	8.2%
6	健康や体力づくり	116	50.2%
7	職業上の知識や資格	31	13.4%
8	国際交流	20	8.7%
9	IT	50	21.6%
10	まちづくり・地域づくり活動	17	7.4%
11	その他	3	1.3%
12	無回答	0	0.0%
	回答者数	544	



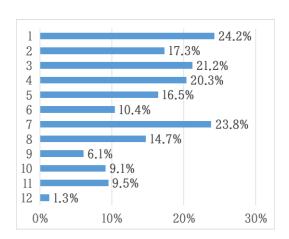
問19 あなたは、今後どのような方法で生涯学習に取り組みたいと思いますか。 (○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、 インターネットなどから学ぶ	154	66.7%
2	個人で健康づくりに取り組む	83	35.9%
3	グループ・サークル活動などに参加して学ぶ	69	29.9%
4	市が主催する講座や教室に参加して学ぶ	74	32.0%
5	町内会や地域の団体が開催する講座や教室で学ぶ	31	13.4%
6	職場内の研修や教育によって学ぶ	31	13.4%
7	民間の講座や教室に参加して学ぶ	40	17.3%
8	専門学校、大学などの公開講座によって学ぶ	3	1.3%
9	放送大学、通信教育を利用して学ぶ	4	1.7%
10	専門学校、大学などへの社会人入学や 聴講生としての受講によって学ぶ	1	0.4%
11	その他	5	2.2%
12	無回答	0	0.0%
	回答者数	495	



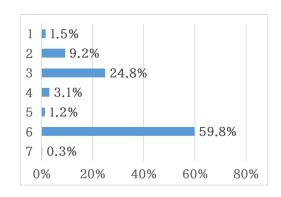
問20 あなたが生涯学習をする場合、何曜日のどの時間帯が都合が良いですか。 (○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	平日の午前(正午頃まで)	56	24.2%
2	平日の午後(午後6時頃まで)	40	17.3%
3	平日の夜間(午後6時頃から)	49	21.2%
4	土曜日の午前(正午頃まで)	47	20.3%
5	土曜日の午後(午後6時頃まで)	38	16.5%
6	土曜日の夜間(午後6時頃から)	24	10.4%
7	日曜日、休日の午前(正午頃まで)	55	23.8%
8	日曜日、休日の午後(午後6時頃まで)	34	14.7%
9	日曜日、休日の夜間(午後6時頃から)	14	6.1%
10	いつでもよい	21	9.1%
11	その他	22	9.5%
12	無回答	3	1.3%
	回答者数	403	



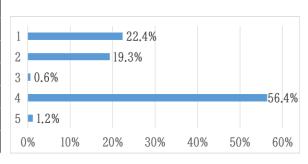
問21 碧南市が行っている生涯学習への取り組みや施策に満足していますか。 (○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	かなり満足	5	1.5%
2	やや満足	30	9.2%
3	どちらでもない	81	24.8%
4	やや不満	10	3.1%
5	かなり不満	4	1.2%
6	わからない	195	59.8%
7	無回答	1	0.3%
	回答者数	326	100%



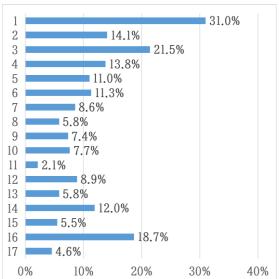
問22 生涯学習に関する広報や情報提供は十分だと思いますか。 (○は1つ)

	選択肢	件数	%
1	もっと情報提供してほしい	73	22.4%
2	今のままでよい	63	19.3%
3	情報の提供が多すぎる	2	0.6%
4	わからない	184	56.4%
5	無回答	4	1.2%
	回答者数	326	100%



問23 今後、市民の生涯学習活動をより盛んにしていくために、碧南市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (○は3つまで)

	選択肢	件数	%
1	公民館などにおける講座・教室の 種類の拡大や内容の充実		31.0%
2	公民館、図書館などの施設の整備		14.1%
3	スポーツ・レクリエーション施設の整備		21.5%
4	学習情報を提供するホームページの充実		13.8%
5	学習情報を提供する生涯学習情報センターの開設		11.0%
6	サークル活動やボランティア活動をする団体への支援		11.3%
7	学習や活動を行う人たちのネットワークづくりの支援		8.6%
8	生涯学習指導者などのリーダー育成		5.8%
9	学習や活動の相談窓口の開設	24	7.4%
10	学んだ成果を地域に活かせる機会の充実		7.7%
11	学んだ成果を発表する機会の充実		2.1%
12	講師・指導者などの人材バンクの充実	29	8.9%
13	出前講座 [※] の充実	19	5.8%
14	ICTを活用した学習機会の提供	39	12.0%
15	その他	18	5.5%
16	現状のままでよい		18.7%
17	無回答	15	4.6%
	回答者数	619	



※「出前講座」: 出前講座とは、市民の皆様のご希望に応じて、市の職員が講師となって地域に出向き、 碧南市の取り組みや暮らしに役立つ知識・情報などを説明する事業です。

資料2 生涯学習推進計画策定部会

1	会長	教育部長
2	会員	経営企画課長
3	//	地域協働課長
4	//	福祉課長
5	//	こども課長
6	//	高齡介護課長
7	//	健康課長
8	//	庶務課長
9	//	学校教育課長
1 0	//	文化財課長
1 1	//	スポーツ課長
1 2	//	水族館長

資料3 第3次碧南市生涯学習推進計画の策定経過

日時	内容
令和3年6月24日	教育委員会6月定例会で計画の改定について方針決定
令和3年7月14日 ~7月31日	生涯学習に関する市民アンケート調査実施
令和3年11月16日	生涯学習推進計画策定部会 第3次碧南市生涯学習推進計画(案)について
令和3年12月16日	教育委員会12月定例会で計画(案)について協議
令和4年2月15日	総務文教部会で計画(案)について協議
令和4年2月16日 ~3月16日	パブリックコメント実施
令和4年3月11日	社会教育委員会議で計画(案)について協議
令和4年3月18日	教育委員会3月定例会で計画(案)について協議
令和4年3月31日	計画決定